

# 阿波を活気づける！

岡山県立津山商業高等学校



阿波とは津山市北部にある住民約300人の村である。

## あばの現状

- ・人が少ない
- ・少子高齢化が進んでいる。
- ・目玉となるイベントがない
- ・イノシシなど害獣の被害がある。

## 解決案

- ・ウォーターサバゲーをもっと多くの人に知ってもらおう。
- ・動物とふれあいの場を作る
- ・ジビエ肉のペットフードを作る



## ウォーターサバゲーの様子と反省点

(様子)

8月6日に行われた三年生が企画した大人から子どもまで楽しめるウォーターサバゲーに参加した。スタッフとしてお手伝いをしたり、実際にイベントに参加して楽しんだ。大人は子供の頃に戻ったようにはしゃぎ、子どもは元気よく遊んでいた。



水鉄砲が終わったら、Tシャツに絵を書き世界で一つだけのオリジナルTシャツを作った。

(反省点)

- ・イベントの進行がスムーズではなかった。
- ・ビニールシートが滑りやすい。
- ・宣伝が広まらなかった。

## 津山商業の学校行事である津商モールでアンケート結果



## わかったこと

阿波にペットを連れて行った人は少ない。しかし、ペットと泊まれるキャンプ場や遊び場があれば行きたいと思う人は多い。

「よって、阿波にペットと遊べる場所をすることで、阿波に来てくれる人が増える。」

## まとめ

ウォーターサバゲーの経験から、アニマルランの運営にあったて進行をスムーズにし、なるべくインターネットを活用しながらアニマルランのことについて広めたり、阿波村自体の知名度を広げるために宣伝活動に専念する。そして第一の問題点の少子高齢化の抑制、阿波村の発展に協力していきたい。

## イベントの解決案



### 宣伝方法

津山商業とザランタンあば村のホームページでしか宣伝していなかった。  
→YouTubeやTikTokなどのSNSに動画を作成してあげる。ラジオで宣伝してもらう。

### 安全対策

色水を使うため地面にビニールシートを敷いていた。それが原因で滑りやすくなった。  
→ビニールシートの滑り止めが付いているものか、表面に凹凸があるシートを使う。

### 進行方法

ルール説明やチーム分けを当日にしていたので時間がかかった。スピーカーやマイクがなかったので声が聞こえなかった。  
→ルールをホームページに掲載しておく。参加者の年齢層を見てチーム分けを事前にしておく。マイクが使えない所はメガホンを使って聞こえやすくする。

### 環境面への対策

使用した色水がビニールシートから流れ出てしまっていた所があった。スポンジなどで吸い取っていたが、間に合っていなかった。

→色水が出ないように、ビニールシートにふちがある物を使う。また、色水が溢れないように、色水を回収できる機会(時間)を作る。



## 動物との触れ合い

### <アニマルラン>

アニマルランとは、犬だけではなく他の動物も遊べる場所。

ターゲット：ペット連れの人たち

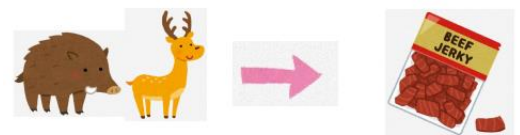
具体例：芝生で足が汚れにくいようにする。水飲み場や足洗い場(水道)の設置。飼い主さんが休めるように日陰を作り、ベンチを設置。



### <ジビエを使った犬用おやつ>

ターゲット：犬や犬を飼っている人

具体的には：阿波で捕獲されたイノシシやシカの肉を活用した干し肉やジャーキーを作る。素材本来の味を生かしたおやつという名目で添加物などを使わずに、安全で安心なものにしたい。もし実現が出来れば害獣はいなくなり、地域活性化にもつながって一石二鳥！！



※静岡県伊豆市や長野県小諸市では、ジビエを使ってペットフードを作るといった取り組みが既に行われており、地域活性化に繋がっている。そのうえ、ふるさと納税の返礼品としても提供されている。